

1998. 5. 29 作  
2012. 7. 20 改訂  
2024. 7. 4 改訂

## 試合運営に関する申し合わせ事項

別紙「試合ルール」に関する運営面での細部について、次のとおり確認させていただきます。

### 1 イニングについて

- ①本大会は、決勝戦も含め全試合七回戦とします。
- ②各試合は、審判員の「プレー」宣言後、2時間を越えて新しいイニングに入りません。（試合開始時間をスコアブックに書き留めるようにして下さい。）
- ③2時間以内で勝敗が決定しない場合は、次に掲げるタイブレーク方式で決着をつけます。
  - ・一死走者1塁・2塁で開始します。
  - ・打撃の開始（打順）は自由ですが、提出した打順表に従って打席に入ることになります。（例、4番打者から攻撃を開始する場合は、3塁走者が2番打者、2塁走者が3番打者となります）
  - ・2時間を超えた場合は9名によるジャンケンで勝敗を決めます。
- ④決勝戦についても、閉会式・グラウンド使用時間等の関係から上記同様の取り扱いとします。

### 2 延長について

- ①持ち時間（2時間）内での延長戦は認めますが、3イニングまで（延長10回まで）とします。それでも勝敗が決定しない場合は、上記サドンデスを行います。

### 3 コールドゲーム等について

- ①五回以降10点差がついた場合、その回をもって終了となります。（決勝戦は点差によるコールドゲームを適用しません。）
- ②いずれの試合も五回をもって成立することにいたしますが、五回以降に日没、降雨等で試合続行がむずかしい状況の時は、運営委員と審判員の協議をもって決定させていただきます。
  - ・五回以降同点の状態で試合が打ち切られた場合は、両チーム9名ずつによる「ジャンケン」で勝敗を決します。
- ③試合が成立する以前に「中止」が決定された場合は、翌日の第一試合に組み入れ、「中止」決定時の状態から続行します。
  - ・再開試合のメンバーは中止時と同一でなくてもかまいません。
  - ・再開試合のカウントは、「アウトカウント」「投球カウント」を継続して行います。
  - ・再開試合の持ち時間は、前日の試合時間もプラスされます。

### 4 進行上での留意事項

- ①使用するベンチの横にスコアボードが設置されているチームは、得点の記載に協力願います。（白墨、雑巾は運営本部にあります。）
- ②捕手は、投手に返球する時および野手に声をかけるために一球毎にホームプレートの前にでないこと。
- ③内野のボールまわしで、投手にボールを戻す時は、守備定位置から送球すること。（歩いて手渡しすることは試合時間のロスとなります）

### 5 指名代打制度

- ①試合開始前に交換された打順表に記載された指名打者は、最初の打撃完了まで交代できない。
- ②チームは必ずしも投手に代わる指名打者を指名しなくてもよいが、試合前に指名しなかった時は、その試合に指名打者を使うことはできない。
- ③指名打者に変えてピンチヒッターを使ってもよい。指名打者に代わった打者は以後指名打者となる。再び試合に出場できない。
- ④本大会の指名打者は守備につくことはできない。
- ⑤指名打者は打順表の中で打順が固定されており、変更することはできない。
- ⑥打順表への先発投手名の表記については、9番打者の下方に「投手〇〇」と表記する。
- ⑦試合開始後の投手交代により、野手が投手になる場合、指名打者は消滅し、以後、その試合において指名打者を使うことはできない。
- ⑧その他、特に定めていないケースが生じた場合は、担当審判員と運営委員との協議を以て運用する。

### 6 臨時代走

- ①審判員が健康状態を判断し、『臨時代走』を承認する。
- ②『臨時代走』となる者は、バッテリーおよび塁上の走者を除く前位の打順者とする。
- ③『臨時代走』に代わって退いた走者は、その攻撃イニングが終了するまで出場できない。
- ④『臨時代走』に攻撃打順が回ってきた時は、代打者が打席に入ることとする。
- ⑤1試合に於いて、同一者が2度の『臨時代走』を立てることはできない。

### 7 グラウンドルール

使用グラウンドの如何によらず、次の特別グラウンドルールを適用する。

- ①投手がプレート上より、1塁若しくは3塁へ牽制のために投じたボールが悪送球となりボールデッドとなった場合、投手が送球に際し、プレートを踏んでいたか、外していたかに拘わらず、1つの安全進塁とする。但し、打球の処理及び野手からの返球を、1塁若しくは3塁に投じてボールデッドとなった場合は、通常の野球規則を適用する。
- ②ネット裏で観戦していた者は、その試合が終了するまで自チームのベンチに入ることとはできない。選手においても、その試合をネット裏及びその付近で観戦することはできない。
- ③ベンチ内での喫煙は禁止する。ベンチ内に「灰落とし」が取り付けられているグラウンドもあるが、

喫煙の場合は、「ベンチ後方」若しくは「バックネットから離れたボールデッドライン」の外で喫煙する。

8 その他

- ①天候の状況等で、試合開始時間が早まる場合もありますので、試合開始30分前までに、チーム責任者は大会本部にきて進行状況を確認するとともに、出場選手が揃った旨の報告をしてください。
- ②試合開始予定時間の20分前までには全員がユニフォームに着替え、準備体操等を済ませておいてください。
- ③その他試合中に起きた問題については、親睦野球であることを念頭におき、解決にあたらせていただきます。

以 上